

本山町監査委員会告示第 17 号

嶺北中央病院例月現金出納検査の結果報告をここに公表する。

令和7年 1月30日

本山町代表監査委員

澤口和久

令和7年 1月30日

本山町代表監査委員 澤田 和久

本山町監査委員 白石 伸一

例月現金出納検査の結果に関する報告について

地方自治法第235条の2第1項の規定により、令和6年11月、12月分の例月出納検査を実施したので、本山町監査基準第17条の規定により結果に公表する。

例月出納検査の結果に関する報告書

第1 検査の概要

1 検査の対象

令和6年11月、12月分の嶺北中央病院事業会計、基金等に係る現金、預貯金等の出納の保管状況

2 検査の実施日

令和7年 1月30日

3 実施した検査手続き

検査の対象となった現金の出納について、企業出納員から提出された資料と各金融機関の預貯金及び借入金の残高証明書、関係帳簿、証拠書類等との照合その他通常実施すべき検査手続きを実施した。

第2 検査の結果

令和6年11月末日、12月末日現在における現金、預金及び借入金の金額並びに企業出納員から提出された収支計算書その他の資料に記載されたこれらの金額は、いずれも関係諸帳簿等の記載金額と一致し、計数上の誤りはないものと認められた。

病院の経営は厳しい状況にある。その主たる要因は診療収入・入院患者数の減少である。経営努力のみでは限界があるため、町において病院に対する今後の方向性を見出すことが必要である。赤字が想定される状況から中長期的視点に立脚した検討をされたい。